

慶應義塾大学教職課程センター公開研究会

教師のメンタルヘルスについて考える

——燃え尽きる前にどう支え合うか

講師 新井肇氏（兵庫教育大学臨床・健康教育学系教授）

2008年3月14日（金） 18時15分～20時45分
慶應義塾大学三田キャンパス 第一校舎107番教室

近年、うつ病などの精神疾患で休職に迫いやられる教師が増え続け、この傾向に歯止めがかからない。教師の仕事の多忙化・複雑化や職場環境の困難化などがそうした状況の原因にあると言われているが、その実態はどのようなものなのか。また、教師の精神疾患に関する回復と予防の手立てにはどういったものがあるのか。本研究会では、これらの問題についてメンタルヘルスの視点から考える。

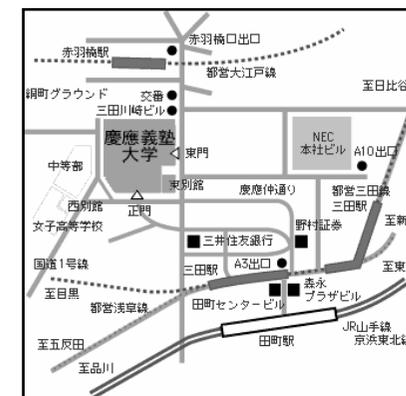
（参加無料・申込不要）

	1992年度 → 2006年度 (14年連続増加)
精神疾患による病欠休職者の人数 (A)	1111人 → 4178人
病欠求職者数に占めるAの割合	29.8% → 59.5%
在職者数に占めるAの割合	0.11% → 0.45%

（文部科学省統計より）

〈講師プロフィール〉

あらいはじめ氏。1951年生まれ。専攻は生徒指導、学校カウンセリング。著書・共著書に、『「教師」崩壊——バーンアウト症候群克服のために』（すずさわ書店、1999年）、『教師カウンセラー——教育に活かすカウンセリングの理論と実践』（金子書房、2005年）、『新訂増補 青少年のための自殺予防マニュアル』（金剛出版、2008年）など。



JR山手線・京浜東北線「田町駅」下車、都営地下鉄浅草線・三田線「三田駅」下車、都営地下鉄大江戸線「赤羽橋駅」下車、いずれも徒歩7～8分

〈主催・問合せ〉慶應義塾大学教職課程センター
TEL. 03-5427-1618

※ 車椅子等で御来場される場合は、予め御連絡いただければ係の者が構内を案内いたします。

<http://www.ttc.keio.ac.jp/>